

Cheers

チアーズカラットしが アットホーム

CARATShiga!

@Home

職場で働く女性を
家庭から応援!

働く女性を支えるすべての方へ

**大切なひとのために、
あなたにできること**

知っていますか?

職場で輝くママの姿

女性が、仕事も!子育ても!

楽しむためにタイセツなこと

働くママを全力で応援中!

チアーズ家族インタビュー!

女性が自分らしく働ける社会へ

あなた

実現のカギは家族の応援!

わたしの可能性がもっと広がる社会へ。



女性の活躍を家庭から応援！

女性が働き続けられる社会へ

「仕事も家庭も大切に、充実した人生を送りたい」そんな願いを持っている人はたくさんおられると思います。しかし現実には、「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識がまだ根強く残っており、女性は家庭において男性より大きな役割を背負うことが多いことから、結婚、出産などのライフイベントを機に仕事を諦めざるを得ないことも多いのが現状です。

しかし、少子高齢化が進む現代において、女性の力は社会の活性化にはなくてはならないものです。2015年にはいわゆる女性活躍推進法が成立し、女性が働きやすい職場づくりに取り組む企業が増えてきています。

また、やりがいのある仕事がある、自分の能力が認められているという実感は、女性自身にとっても大切な生きがいとなります。女性の活躍は、社会にとっても女性個人にとっても重要なテーマなのです。



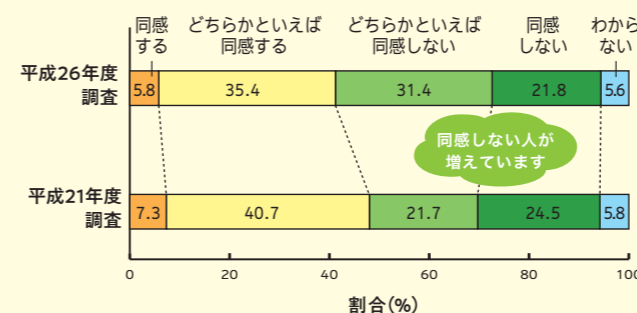
家族の理解と協力が必須！

では、女性が自らの個性や能力を活かし、家庭も大切にしながら働き続けるためには何が必要なのでしょう。社会や職場での支援の充実はもちろん大切ですが、家族の理解や協力も欠かせません。特に女性の負担が大きくなりがちな家事・育児の役割を家族で分担することは必須といえます。

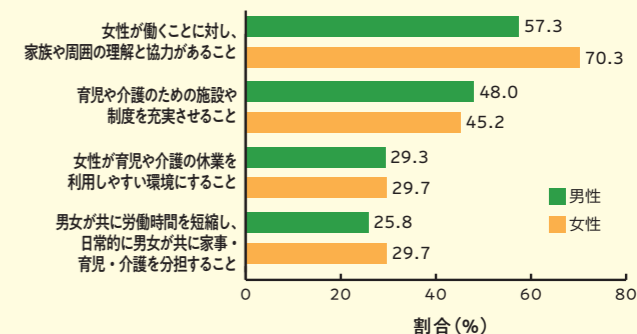
そしてなにより重要なのは、「家庭での役割は女性だけが負うものではなく、夫婦や家族で分担するものであり、そのために女性が自分の仕事やキャリアを諦める必要はない」ということを周囲が理解し、女性の職場での活躍を笑顔で応援することなのです。

働く女性の現状

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について



女性が仕事を続けるために必要なこと(上位4項目)



根強く残る性別による固定的な役割分担意識

平成21年度調査より減少しているものの、まだ4割の人が「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識を持っていることがわかります。こうした意識は、女性の職場での活躍を阻害する要因となります。

周囲の理解と協力が何より大切！

女性が仕事を続けるために必要なことを聞いてみると、7割の女性が「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」を上げています。



仕事と家庭の両立。
 続けてこられた
 みんなに支えられて



株式会社三東工業社
 経理部
 中山田 歩さん



[中山田 歩さん(写真左)] 滋賀県野洲市在住。
 21歳、18歳、16歳の3人の子もを持つお母さん。出産後数年間は契約社員として数社で勤務するも「長く働ける職場を」との思いから、正社員として株式会社三東工業社に入社して14年目。



とにかく無我夢中だった新米ママ時代

子ども達が生まれてからは、仕事・家事・育児とあっという間に1年過ぎ、2年過ぎ…とにかく毎日が無我夢中でした。平日は忙しい分、週末は家族で過ごす決めて、日曜日の夕食はいつも夫が私の好きなものを作ってくれました。

職場では子どもの夏休みで出社が遅れることを相談すると、制度としてはまだなかった時差勤務を取り入れてくれたり、子連れでの出社を認めてくれたり。悩んでいることを話すと必ず相談に乗ってもらえたのがとてもありがたく、自分自身も「頑張ってる」と思えることができました。

社会や人とのつながりが大事!

子どもが小さいうちは家にこもりがちになりますが、地域の子育てサロンやイベントに参加し、近くに住む方とのつながりができました。おかげで前もって周りの方に「何かあったらお願いしますかも」と伝えておくことで子どもが急病の時も頼ることができました。多くの方の支えによって、孤独を感じることなく子育てを頑張ることができたのだと思います。



働きやすい職場があるから、家事も育児も頑張れる。

[泉 玲奈さん] 滋賀県野洲市在住。
 歯の治療に使用される接着材などを開発・販売するサンメディカル株式会社で、製品の製造販売に関連する認可を受けるための申請業務を行う。家庭では4歳と1歳の男の子を育てるお母さんで、時差・在宅勤務を併用中。



サンメディカル株式会社
 薬事部
 泉 玲奈さん

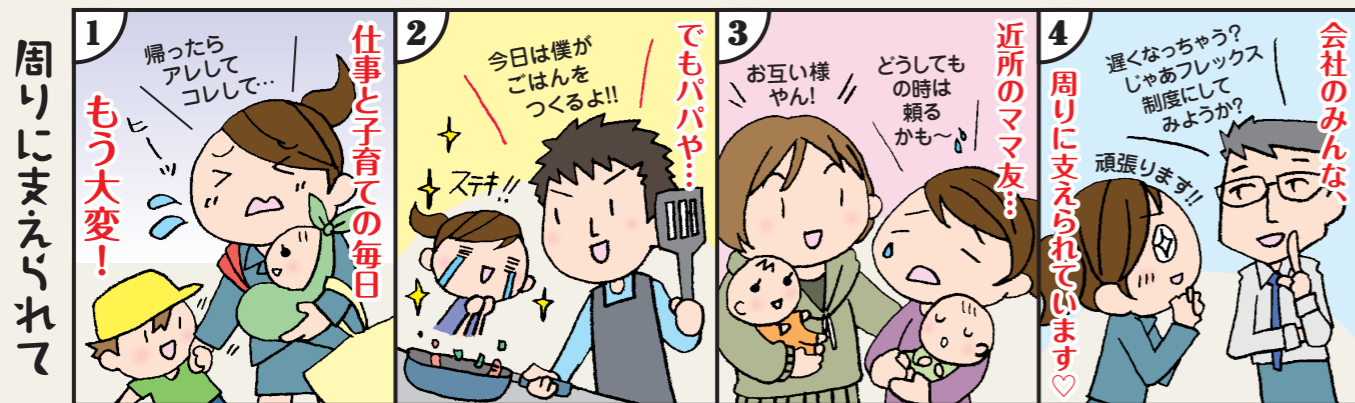
復帰しやすい環境が嬉しい

産休と育休を取得して、子どもが10ヶ月の時に復帰しました。職場の半分以上が女性ということもあり、産休・育休を取得して復帰するのが当たり前になっていて「いつ帰ってくるの? 待ってるよ」と声をかけてもらえたのは非常にありがたかったです。

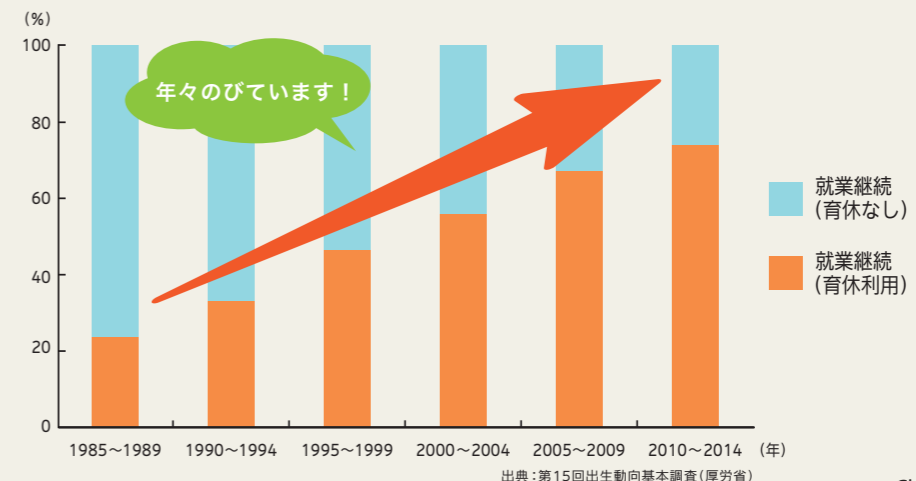
今は朝8時から夕方4時半までの時差勤務と月4回の在宅勤務を利用しています。会議は必ず4時半までに終わるようにしてもらえるなど、職場の理解と協力もあって時差勤務でも働きやすく、在宅勤務の日は通勤にかかる時間を家事や他の用事に使えるので助かっています。

仕事を続けることでメリハリが生まれる

仕事を続けていて良かったと思うし、これからも続けていきたいです。仕事のストレスは家で、家のストレスは仕事で発散でき、メリハリが生まれます。私は朝早く出勤するので保育園に子どもを送るのは夫、お迎えやお風呂は私という風に分担しています。仕事と家庭の両方があることで、自分の世界が広がることはとても良いことだと思っています。



子どもが生まれてからも働き続けている女性のうち、育児休業を活用している人の割合は年々増えていることがわかります。



第一子出産後に就業を継続した女性のうち、育児休業を取得した割合



女性が輝く社会へ

3者の視点から考える

COMPANY DATA

株式会社シンコーメタリコン

滋賀県湖南市吉永405

TEL.0748-72-3311

<http://www.shinco-metalicon.co.jp>



子育てと仕事の両立を目指す女性社員

宮路 和代さん
営業事務課で営業職のサポートと来客対応を担当する入社6年目。1年間の産休・育休期間を経て2018年11月に復帰。12月で1歳になった子ども、夫、両親との5人暮らし。

月に1回は赤ちゃんとお社!

当社には「育休面談」という制度があって、育休期間中に月に1回赤ちゃんと一緒に出勤するんです。最初は毎月1回職場に出向くなんて面倒かなと思っていたのですが、やってみるとすごく良い気分転換になりました。まだ会話のできない子どもと毎日向き合っているとストレスがたまってしまいうち、外の空気を吸って慣れ親しんだ職場の仲間と話ができるこの時間がすごく楽しみでした。

また、育休から復帰している先輩女性がたくさんおられ、あたりまえに復帰ができる雰囲気だったので、復帰への不安はありませんでした。現在は時短勤務をしているので、効率よく時間を使うために120%の力で頑張っています!



女性社員の上司イクボス

玉置 千春さん
入社26年目。総務部、営業事務課での仕事を経て、現在は営業事務課の課長と広報部の部長を兼任する。2019年に社内初の女性取締役に就任。

風通しのよい職場づくりが大切。



働きやすい職場であるために、社員同士でこまめにコミュニケーションを取るようになっています。育休面談もその一つで、育休中の女性にとって今会社で起こっている出来事を知ったり、先輩社員から育児のアドバイスをももらったりすることで、職場復帰への不安を解消するいい機会になっていると思います。また、成長していく赤ちゃんの顔を毎月見ることで、まるで親戚の子どものように思えてきて、職場に復帰した女性社員の仕事と子育ての両立を職場全体で応援する雰囲気が自然にできています。

一方で誰かの育休中は、職場に残っている社員の仕事量がどうしても増えるので、「これは誰々に任せよう」「これは明日でいいよ」と声を掛け合い、負担が偏らないように心掛けています。



女性活躍に積極的に取り組む企業のトップ

立石 豊さん
85年に株式会社シンコーメタリコンに入社し、94年に33歳で社長に就任。以来、自身のひらめきで数々のユニークな制度を導入し、社員全員が働きやすい職場づくりを目指す。

独自の制度で女性の活躍を応援!

当社には、育休中の社員が子どもと一緒に出勤する「育休面談」をはじめ、「ドリームセブン」、「イクメンファイブ」など、様々な独自制度があります。これらの制度は、私がトップダウンで推し進め、導入したのですが、実際に制度を利用する社員の意見を取り入れながら、よりよい制度になるよう日々改善するようにしています。



女性が持つ能力は計り知れません。任せた仕事を積極的に進めてくれる中で「こんなこと男性では気づけなかった」「こんな風に工夫すれば上手くできるんだ」と思うことが本当に多い。次にどんなアイデアが出てくるのか、いつも楽しみにしています。



株式会社シンコーメタリコン

女性の活躍を支援する、独自の制度について

●育休面談

育休中の女性社員が月に1回1時間程度、赤ちゃんと一緒に出勤することができる制度。職場とのコミュニケーションを取り続けることで、職場復帰しやすい雰囲気づくりに役立っている。

●ドリームセブン

社員全員が1年に1回、必ず7日間の連続休暇を取得する制度。社員からは「家族と過ごす時間が増えた」「若手に仕事を引き継ぐ良いきっかけになっている」と好評。

●イクメンファイブ

子どもが生まれた男性社員が5日間の連続休暇を取得できる制度。取得時期は各自の希望に合わせて「生まれてすぐ」「退院したら」など4パターンから選択できる。

チアーズ家族 インタビュー 01

株式会社
コクヨ工業滋賀



[大西さんファミリー]
滋賀県彦根市在住。
彩希さん(旧姓田井中)※会社では旧姓使用、亮久さん、4歳の和咲くんの3人家族。夫婦ともに株式会社コクヨ工業滋賀に勤務し、彩希さんは従業員の健康管理や工場見学の広報、亮久さんは工場設備の維持管理を担当。



時差勤務を上手に活用。家族の協力に感謝!

彩希さん 育休から復帰した当時は時短勤務だったので、仕事が途中で無理やり帰るのが自分のスタイルに合わなくてストレスを感じていました。時差勤務を利用して、早く来て早く帰るようにしたら仕事も家庭も上手く両立できるようになりました。

亮久さん 当初は朝2人してバタバタと準備して、8時半に会社という生活でしたが、今は妻が1時間早く家を出るので、子どもの着替えをし、朝ごはんを食べさせて送って行くのは私の担当です。

彩希さん 朝のうちに集中して仕事をして、早く退社することで、子どもを待たせることもなくお迎えに行けます。子どもと一緒にいられる時間も増えたと、すごく働きやすくなりました。

亮久さん それぞれが自分のペースで家事や子育てに関われるこの形が私達に合っていると思います。お互い正社員で働いているので、家事を半分やるのは普通のこと。妻には好きな仕事を頑張ってもらいたいです。

パパの力があってこそ!

朝、夫に全部任せて家を出られるのは本当にありがたいです。私の勤務形態が変えられたのも、家族の理解があってこそ。どんなことも、しっかり話し合うことが大切だと思います。



彩希さんのとある1日をご紹介します!

起床、朝食と身支度
朝食の準備を済ませ、子どもが起きたら少し相手をして出発。
AM5:30

時差勤務で1時間早く出社し、1時間早く退社!

退社、保育園のお迎え
お迎え後は亮久さんの実家へ。夕食までの時間を子どもと過ごす。
PM4:30

子どもと一緒に就寝
自宅に帰ってお風呂、洗濯、明日の用意を済ませて就寝。
PM9:30

出社、仕事に集中
まずはメールをチェック。誰もいない1時間で集中して仕事を進める。
AM7:30

家族そろって夕食
亮久さんも合流して、みんなそろっての夕食。
PM7:00

葉子さんのとある1日をご紹介します!

起床、準備をして出発
朝食後、子どもを送り出して片付けを終えたら8時過ぎには出発。
AM6:30

退社、子どもと一緒に帰宅
塾に通う子どもを迎えに行き、7時過ぎに帰宅。夕食の準備。
PM6:15

就寝
家事を済ませたり家族との時間を過ごしたりして、11時には就寝。
PM11:00

出社、業務開始
会社に到着。フィルム研究所の技術職として実験などを行う。
AM8:45

夕食、お風呂
仕事の予定が合った日は、修平さんもそろって家族3人で夕食。
PM8:00

家族の理解があるから、夢だった仕事を続けられる。

葉子さん 中学生の頃から研究者になるのが夢で、それが叶って今の仕事につきました。出産後はあまり休むと研究について行けなくなる心配もあり、6ヶ月で職場に復帰しました。

修平さん もともと「子どもが生まれても仕事は続けて、早めに復帰したい」という話はしていたので、自然な流れでした。

葉子さん 夫の仕事は毎月のシフトで決めているので、子どものお迎えなどもシフトを作るタイミングで「この日は出張だからお願いできる?」とやりとりをして予定を決めています。家事も常にできる方がやるようにして、うまく分担しています。

修平さん 妻も仕事を続けることでいきいきして

いるし、仕事と家のことを両立して頑張っている姿はすごいな、といつも思っています。

葉子さん 夫の力がないと絶対に無理でした。私の仕事を理解してくれるので、すごく助かっています。

寄り添ってくれる嬉しさ

夫が家事も育児も、こちらが何も言わなくてもやるという姿勢でいてくれることがうれしかったです。寄り添ってくれる感じがして、辛い時もあったけれど「ひとりじゃない」と思えました。



チアーズ家族 インタビュー 02

東レ株式会社



[若原さんファミリー]
滋賀県大津市在住。
東レ株式会社でフィルムの研究開発を行う葉子さん、介護関係の仕事をする修平さん、小学4年生の直汰郎くんの3人家族。夫婦ともに九州出身で、結婚を機に滋賀県へ。



チアーズ家族の

4つの約束



「手伝う」のではなく「一緒に」
 ママが子育てや家事で忙しいとき、何気なく「手伝おうか？」なんて言っていないか？ そもそも子育ても家事も、女性が1人でやらなければならないことではありません。家事・育児は家族でやることだと考え「一緒に」やるという気持ちが大切です。



忙しい時間帯は力を合わせて
 朝は、自分の身支度をして、朝ご飯を作り、子どもを起こして、子どもの身支度をし、ご飯を食べさせ、ゴミを出し、子どもを保育園へ送ってから出勤と、時間に追われながら1人でこなすのは大変です。でも、夫婦で分担すれば、負担は半分になるのです。



大変なとき「頼れる」パパに
 ママだって体調を崩すことはあるし、大事な仕事で帰りが遅くなったり、出張に出ないといけなかったりすることもあります。そんなとき、炊事・洗濯から子どもの入浴・寝かしつけまで、一通りの家事・育児をパパがこなせば、ママはとっても安心できます。



夫婦二人で話し合える時間を
 仕事に家事に子育てに、忙しすぎて夫婦2人で話ができる時間を取るのには難しいかもしれません。でも、お互いの職場のことや、家族の将来のことなどについて、しっかりコミュニケーションをとることで、よりよい夫婦のパートナーシップを築くことができます。



働くママを応援！

チアーズ家族を目指して

子育て中でも自分らしく働き続けたい！そんな女性の願いを叶えるために必要なのは、家族からの応援です。でも、「応援って何をしたらいいの？」「家事を手伝ってもどうせ怒られるだけだし……」なんて思っているパパも多いはず。そこで、「こんな応援がうれしい！」というママの本音をまとめてみました。

チアーズオフィスの

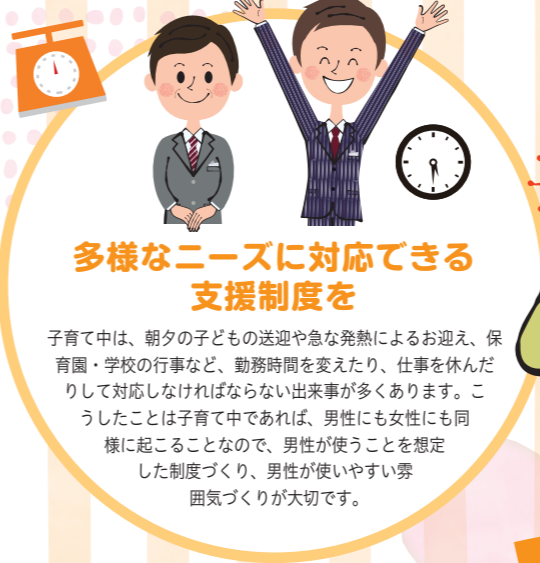
4つのポイント



「家事・育児」は男性の大切な役割
 子育て中の男性は、職場で重要な役割を担っているのと同じように、家庭においても家事・育児といった大切な役割があります。職場のすべての人がそのことをよく理解し、子育て中の男性が十分に家庭での役割を果たせるように応援することが大切です。



家庭のことも話し合える雰囲気づくり
 子育て中の男性を応援するための第1歩は、その男性が大切にしているのが、どんな家庭なのかを知ることです。家庭での役割のこと、パートナーの仕事のこと、子どもたちと過ごす時間のこと、そうしたことを職場で自然に話し合える雰囲気を作ることによって、男性は安心して家庭での役割を果たすことができます。



多様なニーズに対応できる支援制度を
 子育て中は、朝夕の子どもの送迎や急な発熱によるお迎え、保育園・学校の行事など、勤務時間を変えたり、仕事を休んだりして対応しなければならない出来事があります。こうしたことは子育て中であれば、男性にも女性にも同様に起こることなので、男性が使うことを想定した制度づくり、男性が使いやすい雰囲気づくりが大切です。



残業を減らせば「パパ」の時間が増える
 子育て中の男性にとって、仕事終わりは「パパ」としての時間の始まりです。残業をすればするほど「パパ」としての時間は減り、子どもの迎えや夕飯の準備、子どもの入浴・寝かしつけなど、家庭で果たすべき役割が果たせなくなってしまいます。働き方を見直して、それぞれが希望する仕事と家庭のバランスを実現できる職場にしましょう。



まずはここから！

チアーズオフィスを目指して

2015年にいわゆる女性活躍推進法が施行され、女性が職場で個性と能力を十分に発揮するための風土や制度作りを力を入れている企業も多いですが、女性活躍を進めるためには、男性が家庭での役割を果たし、女性の家事・育児負担を軽減することが必要不可欠です。ここでは、子育て中のパパ・ママからの思いを聞き、男性が仕事と家庭を両立することができる職場、「チアーズオフィス」を作るためのポイントをまとめました。

滋賀県は、職場における女性の活躍・家庭における男性の活躍を応援しています！

冊子にご意見・ご感想をお寄せください！



この冊子は、女性の活躍推進に部局横断で重点的に取り組む「カラット滋賀・女性・元気プロジェクト」の事業の一つとして作成しました。



今後、県において女性活躍や男性の家事・育児参画を進めるにあたって、県民の皆様のご意見を参考にさせていただきたいので、冊子に目を通していただき、感じたことや思ったことを是非お聞かせください。
 お問い合わせ：滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課
 住所：〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1
 電話：077-528-3770 FAX：077-528-4807
 E-mail：fg00@pref.shiga.lg.jp

ご協力いただける場合は、上の二次元コードを読み取っていただき、しがネット受付にてアンケートにご回答ください。



滋賀県女性活躍推進企業認証制度とは？

滋賀県が、県内に本社または事業所を置く企業・団体の女性の活躍推進の取組を応援するために設けている制度です。取組状況に応じて一つ星、二つ星、三つ星の三段階で企業を認証します。



- 認証を取得するとこんなメリットがあります！
- 認証マークを広告等に使用し、女性活躍のための高い水準の取組を行っていることをアピールできます。
 - 県ホームページで取組を紹介します。
 - 県の建設工事の入札参加資格審査でポイントが加算されます。
 - 県が行う公共調達で優遇されます。
 - 認証企業であることが求人票に記載できます。 …など

認証を受けている企業の確認や、認証申請の手続きは、滋賀県女性活躍推進課のホームページをご覧ください。
 詳しくは、[滋賀県女性活躍推進企業認証制度](#) [検索](#)



イクメンを応援！ 県内企業をご紹介

株式会社内田組

滋賀県大津市大江2丁目33番3号
TEL.077-545-3171
http://uchidagumi21.co.jp
従業員数 75人



株式会社日本政策金融公庫 大津支店

滋賀県大津市梅林1-3-10 滋賀ビル4F
TEL.077-524-1656
https://www.jfc.go.jp/
従業員数 39人



イクメン支援 3つのポイント

男性の
育児休業
取得を推進

幅広く使える
有給の
育児目的休暇

妻の出産時に
使える
有給休暇

「社員全員が働きやすい職場づくりを」との思いから、女性だけでなく子育て世代の男性も利用しやすい仕組み・風土づくりも進めています。男性の育児休業取得の推進はもちろん、学校行事から家族旅行まで、幅広く使える育児目的休暇や、妻の出産時休暇などを有給で取得できるようにしている他、子どもの急病や小学校の交通当番の日などには、会社と相談して勤

イクボス

部長 寺田 圭佑さんから一言

これまで育休などの制度を利用するのは女性を中心でしたが、現場で働く男性の育児参画も積極的にすすめています。現場の仕事にはたくさんの人が関わっているので、互いにサポートし合える体制づくりを心掛けています。

「安心して働き続けられる職場へ」
そのような仕事と家庭が両立できる働きやすい職場を魅力に感じ、入社を希望する人も多いとのこと。内田組では現在増えつつある若手社員が安心して働き続けられるよう、お互いが協力しあえる環境づくりがますます進められています。

社員一人ひとりの 暮らしを大切に 子育て世代を応援する会社

道路や橋、公共施設の建設などの工事を手がける株式会社内田組。男性社会のイメージが強い建設業界で女性技術者の採用や、社員の仕事と家庭の両立支援に力を入れてきました。

「男女ともに働きやすい職場をつくるには、男性の育児参画も重要」と考え、男性職員が育児関連休暇を取得しやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。

子育てに参加できる制度づくり

男性の育児参画を支援するため、取組として、配偶者の出産前後に、出産休暇に加え5日間「育児

参加のための休暇」を取得できる他、柔軟な働き方ができる「フレックスタイム制」も整えています。また、週二日を「ノー残業デー」と定めており、職員からは「子どもと過ごす時間が増えた」と喜びの声が上がっています。

制度活用に向けた工夫も

制度をより利用しやすくするために、同社では対象者とその上司にメールで通知する取組を実施。現場では「気兼ねなく制度を利用できた」と好評で、男性職員の育児関連休暇3日以上の取得率は2017年度で100%を達成。2016年には国が認める「プラチナくるみん」を取得しました。大津支店においては、滋賀県の「女性活躍推進企業認証制度」で二つ星を取得するなど、支店でも積極的に取り組んでいます。

イクメン支援 3つのポイント

週2日の
ノー残業デー

育児関連
休暇制度

フレックス
タイム制の
導入

会社のススメで育休を取得！

大伴 崇之さん

特別休暇を利用して出産に立ち会うことができました。退院後しばらくたった時に、会社から「奥さんも休める時間があつた方がいいのでは」と育休をすすめていただきました。寝不足だった妻の代わりに家事や育児ができたので、妻もとても喜んでくれました。



育児参画で仕事も効率アップ！

河村 悠司さん

子どもが生まれた時に5日間の育児関連休暇を取得しました。それをきっかけに、普段子どもをお風呂に入れたり、寝かしつけたりと、積極的に子育てをしています。早く子どもの顔が見たくて帰る時間を意識するようになってからは、仕事の効率も上がっています。





[金戸 保之さん]
滋賀県長浜市在住。鈴木ヘルスケアサービス株式会社で勤務して18年目。デイサービスセンターやグループホーム、小規模多機能ホーム等の統括や人事など社内業務全般を幅広く担当する。家庭では10歳、6歳、2歳の3児のお父さん。

イクメン

きんと 金戸 保之さん

家事や育児をすることで、仕事にも良い影響が。

育児を利用して出産に立ち会えた。

自社が運営するデイサービスセンターなど、お年寄りに来ていただく施設の統括を担当しています。現場に出ることもありますが、管理職なので普段は週末が休みです。土日でも働く妻に代わり、休日はまる1日子ども達の相手と家事全般をやっています。子どもが生まれるまで家事をやったことがなかったので、毎日ごはんを作る大変さが本当によく分かりました。2年前に3人目が生まれた時は、育児休業を取って出産に立ち会うことができました。予定日より早く急なことだったので、会社も早く受け入れてくれてありがたかったです。



家族と過ごし元気をチャージ。

介護関係の仕事をしていると「休みが取れない」「夜遅くまで働いている」という話をよく聞きますが、うちは17時半で帰れているので働きやすいです。職場にいればやることはいくらでもあります。人と接する仕事なので疲れた顔を見せるより元気を提供できる存在でありたいと思います。早く帰ると子ども達も喜んでくれますし、自分の体調管理も含めて家庭での時間を大切にしています。

パパママが働きやすい職場。

子どもが生まれて家庭を持つ感覚が分かると、職場での心境も大きく変わりました。女性が多い職場なので「お母さんが遅くまで働いているよりも、早く帰ってもらった方がいいな」と思うようになりました。僕も毎日家でやることがあるので効率を考えて働くようになったし、男性は家庭を持つたら家のこともしっかりした方が、仕事にも良い影響が生まれると思います。

まず現場の声を聞くことから。

介護サービスの利用者は圧倒的に女性が多いので、同性介護のためには女性職員が必要ですが、結婚や出産での退職が多いことが悩みでした。そこで現場の職員向けにどんな制度があったらいいかアンケートを実施して、要望の多かった時短制度や、1時間単位で取れる時間有給、子連れ出勤などを導入しました。その結果、職員の定着率はかなり上がったと思います。

実際に利用できる制度へ。

制度を作っただけでは、「実際に使うと他の人に迷惑がかかるのでは」と心配する職員が多く、なかなか利用が進みませんでした。そこで、まずは管理職クラスが率先して制度を利用することにしたところ、職場全体に「使っているんだ」という意識が浸透しました。今は育児休業や時短制度を始め、時間有給を利用することで、登下校の見守り当番やPTAなどの学校行事の準備などに参加するなど、男女ともに制度を上手く活用しながら仕事と家庭を両立させています。

男性の家事・育児参画が大切。

これからは、女性だけでなく男性の家事・育児への積極的な参画をもっと推進していきたいと考えています。家庭のことがよくわかるようになります。同じように家庭を持つ女性に共感できることも増え、女性にとっても働きやすい職場になるからです。

女性の多い職場だからこそ、男性の家事・育児参画は重要です。働いてくれる職員に常に向い環境を用意できるように頑張っています。



制度が使える環境を整備して、お互いが助け合う職場へ。

イクボス

鈴木 則成さん

[鈴木 則成さん]
滋賀県彦根市在住。鈴木ヘルスケアサービス株式会社で代表取締役を務める。女性が8割以上を占める職場環境で男性も女性も仕事と家庭の両立がしやすい制度の充実と利用推進を積極的に行う。



Q.子育てをするようになって、残業する時間は変わりましたか？

		減った	変わらない	増えた
全体 (n数)		62.4	33.3	4.3
年代	30代以下 (133)	65.4	30.8	3.8
	40代 (100)	57.0	37.0	6.0
	50代 (22)	68.2	31.8	0.0

※50代は、参考値

出典：イクメン宣言者の宣言後行動リサーチ(厚労省)

●「残業時間が減った」が最も高く62.4%。
●30代と40代では、30代の方が「残業時間が減った」割合が高くなっています。



イクメンアンケート 残業時間の変化



最高の相棒

機会を逃さず 育児休業を取得。

子育ては おもしろい！

イクメン
赤澤 利幸さん



【赤澤 利幸さん】滋賀県栗東市在住。大崎設備工業株式会社で、滋賀県全域にある病院や学校等の設備工事の現場監督を務める。家庭では5歳と生後10ヶ月になる2児のお父さん。



約2週間の育児休業を取得

建設現場で設備工事の現場監督をしています。担当している現場が勤務地になるので、現場が遠いと朝6時に家を出たり、近いと少し余裕があったりと生活時間はその時々で変わります。
昨年の4月に工事がひとつ終わり、次の工事が始まるまで仕事に余裕がありました。当時は下の子が生まれてまだ3ヶ月、2人の子どもを1人でみる大変さは想像できたので、それなら休みを取って僕が上の子を見ることはできるな、と思いこのタイミングで約2週間の育児休業を取得することにしました。

子ども達も、パパ大好きに！

育児休業中は子どもと一緒に時間が増えるので、子ども達が慣れて自然に寄って来てくれるようになったのがうれしかったです。家事や育児の分担はぎっちり決めず、子どもの相手や洗い物など、その時必要なこと、できることを見つけてやっていました。今でも子ども達をお風呂に入れる、上の子を寝かしつけるのは僕の役目です。

家事ゼロの夫から イクメンへ。 やればできる、 できると楽しい！

イクメン
野口 勇樹さん



【野口 勇樹さん】滋賀県甲賀市在住。水口医療介護センターで、病気やケガなどでリハビリが必要な方を支援する作業療法士として勤務。家庭では8歳、5歳、3歳の3児のお父さん。

家のことは夫婦で補い合う

僕は作業療法士、妻は言語聴覚士として働いています。妻は、土日に仕事に出ることも多いので、そんな日は僕が3人の子どもたちを連れて遊びに出かけたり、一緒にご飯をつくったりしています。
平日は、朝は妻が朝食を作る間に僕が保育園の持ち物を準備し、夜は妻が夕食を作る間に洗濯物を畳んでおくなど、ルールとして決めているわけではありませんが、得意な家事を自然と分担するようになりました。

何もしない夫からイクメンへ！

結婚するまでは家事は嫌いだったし、ごはんは座っていれば勝手に出てくるものだと思っていたので、本当に何もしない夫でした。それが、妻が育休から復帰した日の朝、あわただしく朝の家事をしている妻を横目に、テレビを見て笑っていた僕に、妻の怒りが爆発し、「これじゃいけない」とやっとなぐりつけたんです。はじめは何をすればいいのかもわかりませんでしたが、自分ができるとかなんか考えながら動くようになり、今では

子育てをするのは自然なこと

子ども達の成長を見るのはおもしろいです。最近、下の子が初めてひとりで立った時は、うれしくて感動しました。仕事は自分の段取り次第でメリハリをつけることができるし、上司も「子どものために早く帰り」と声をかけてくれます。子育てをするのは、僕にはすごく自然なこと。楽しんでやっています。

普段から子ども達を見てくれて、すごく感謝しています。育休でパパがいるとママも助かるけど、特に上の子は普段我慢させることが多いので、パパと遊べてうれしそうでした。子ども達は2人ともパパが大好きです！
赤澤 祥子さん

ママからパパへ



他のパパに良い影響も

上の子が1歳ぐらいの頃、僕が子どもと2人で外出しているのを見た他のお父さんが「自分にもできるかも」と思ってくれたのはうれしかったです。子どもはすぐに大きくなるので、今のうちにたくさん遊んでもらおうと思っています！

娘からパパへ



お父さんが作ってくれるチーズハンバーグはすごくおいしいです！いつもいろんな所に連れて行ってくれるし、ハムスターやメダカの世話も一緒にしてくれる、優しいお父さんが大好きです。
野口 陽菜乃ちゃん

Q. 育児をしたことで、変わったことはありますか？

n数		子どもがなつくようになった	妻や子どもとの関係が良くなった	近所付き合いが増えた	自分の成長を感じた
全体	(255)	63.9	49.4	47.5	45.9
年代	30代以下	(133)	63.2	54.9	44.4
	40代	(100)	67.0	49.0	48.0
	50代	(22)	54.5	18.2	36.4

※50代は、参考値扱い

出典：イクメン宣言者の宣言後行動リサーチ（厚労省）

イクメンアンケート 育児をして変わったこと

男性育休のススメ。

1 子育てって毎日何するのかな？ やることあるのかな？
育休取得する前は…

2 めっちゃ大変!!!!
助かるー 待って待って
ママすごい!!

3 初たち!!
家族がもっと仲良くなり
子育ての楽しさも実感
育休取って良かったー!!
ウオオオオ!!

4 やっておくからお迎え行ってあげてね
でも…
僕も終わったらすぐ帰るから
はいっ

仕事でも効率や気配りの面で大きく成長できました!!

男性が家庭でも輝ける社会に！

家事・育児に積極的に参画する男性を「イクメン」と呼ぶようになって随分経ちます。「もうイクメンなんて当たり前」と思われる方もいるかもしれませんが、実は、今でも男性が1日に家事・育児にかける時間は、共働き世帯でわずか38分と、女性の4時間18分と比べて2割以下に過ぎません。

男性が家事・育児に積極的に参画しない(できない)と、女性は家庭における役割のほとんどを1人で背負う

ことになり、自分の仕事やキャリアを犠牲にせざるを得ないことから、男性の家事・育児参画は、女性活躍を進めるための重要な鍵でもあります。

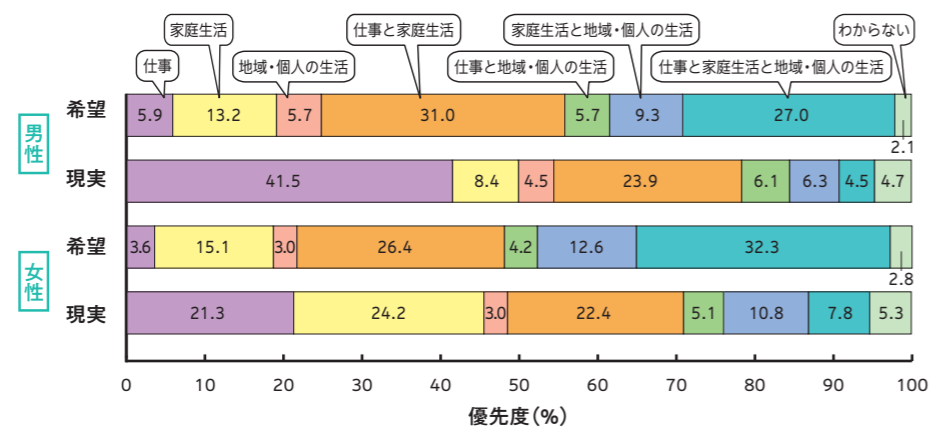
もちろん男性も家事・育児に参画したくないわけではありません。男性の多くは、仕事だけでなく家庭も大切にしたいと考えています。しかし、男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識は依然として残っており、長時間労働を求められ、

育児のための休暇も取得しにくいなど、職場で担う役割が大きいのが現状です。

男性が職場だけでなく家庭でも輝ける社会を実現するためには、まず、子育てをする男性が職場だけでなく家庭においても大きな役割を担っていることを、共に働くすべての人が理解し、積極的に家事・育児に参画しようとする男性を、職場から応援していく必要があるのです。



職場では見せない“パパ”の顔がある

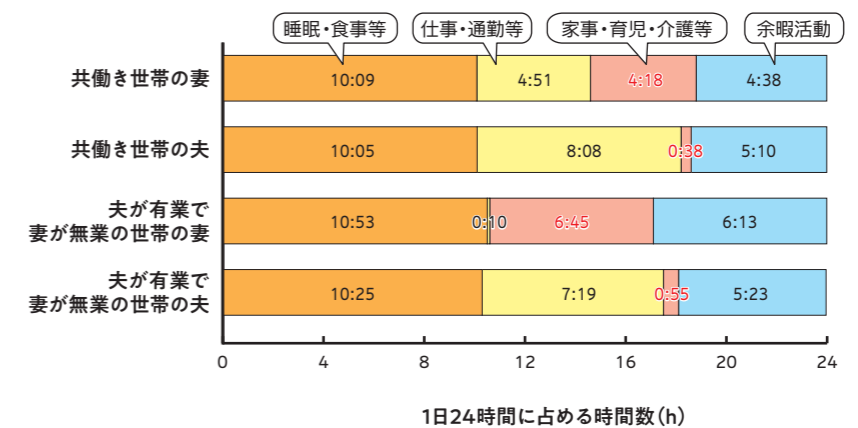


出典：平成26年度男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査(滋賀県)

生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度(滋賀県)

夫婦の生活時間を見ると、妻の有業・無業に関わらず男性の家事・育児等時間は1時間にも満たないことがわかります。

共働き世帯であっても、家事・育児の負担が女性に極端に偏っているのが現状です。



1日24時間に占める時間数(h)

出典：平成28年社会生活基本調査(総務省)

夫婦の生活時間(滋賀県)

男性、女性ともに、「希望」では、仕事と家庭生活を共に優先したいと考え、女性の割合が高いですが、「現実」は、男性は仕事を最優先する人の割合が高く、女性は家庭生活を最優先する人の割合が高くなっています。

Cheers

チアーズカラットしが アットオフィス

CARAT Shiga

@Office

家庭で頑張る男性を
オフィスから応援!

男性だつて子育てがしたい!

実現のカギは職場の応援!

あなた

家庭での男性活躍に向けて
あなたの職場の、
“パパ”へエールを!

職場では見せない“パパ”の顔
素顔のイクメンインタビュー

楽しく働き続けるために
イクボス・イクメン
それぞれの想い

イクメンの働きやすい職場とは?
県内企業の取組を紹介